

平成29年第3回町議会定例会

# 町長行政報告

川 本 町

## ■行政報告の主な内容（30項目）■

### 特色を活かした活力あふれる産業のまち

- ・米の生産振興 9
- ・新規担い手の確保 10
- ・畜産振興 10
- ・商業振興 11
- ・観光振興 11
- ・6次産業化 13

### 便利で快適に暮らせる基盤が整うまち

- ・定住促進住宅整備 14
- ・民間住宅整備 14
- ・道路整備 15
- ・簡易水道 15
- ・水防災・治水対策 16

### 安心して暮らしやすい生活環境のまち

- ・新可燃ごみ処理施設 17
- ・地すべり対策 17
- ・交通安全対策 17

## みんなが健康で安心にいきいきと暮らせるまち

- ・ 高齢者福祉 18
- ・ 高齢者の活動 19
- ・ 健康づくり等に関する協定 19
- ・ 国民健康保険 20

## 夢や希望をはぐくむ教育・文化のまち

- ・ 学校教育 21
- ・ 教育環境の魅力化 22
- ・ 社会教育活動 22
- ・ 社会体育の推進 23
- ・ 文化振興 24

## 人と人が支え合う協働のまち

- ・ 島根中央高校魅力化 25
- ・ 男女共同参画の推進 26
- ・ 姉妹都市交流 26
- ・ 企業誘致 27
- ・ ふるさと納税 28
- ・ 窓口おもてなし 28
- ・ 公聴・広報 29

平成29年第3回町議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、万障お繰り合わせのうえ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

開会にあたり、諸議案の説明に先立ちまして諸般の事項についてご報告申し上げます。

今年は島根県ではじめて大雨特別警報が発令されたり、北朝鮮が島根県上空を通過するミサイルの発射予告をする中、8月29日に北海道上空を通過するミサイルが発射されるなど、これまで経験したことがない事態が起こっています。国は、この危機を外交、防衛、経済などの総合力を発揮して切り抜けてほしいと思います。

また、8月16日午後8時前後に米軍機の低空飛行訓練が断続的に繰り返され70デシベル以上の騒音が本町で7回ありました。昨年10月以降なかったわけではありますが、県西部3市2町で構成する米軍機騒音等対策協議会で防衛省等へ抗議してまいります。

9月1日は防災の日でありました。これから本格的な台風シーズンを迎えますが、災害発生時には町全体の被害状況をできるだけ早く把握し、限られた資源を緊急度が高い

箇所から投入し、被害を最小限に抑える必要があります。

特に町民全員の安否確認は大事な作業ではありますが、消防団や役場職員だけで行うことは非常に困難であり、それぞれの自治会で自主的に連絡体制を整え防災意識を高める訓練を行っていただきたいと考えております。

また、万が一に備え、躊躇せず避難指示等も出してまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

三江線につきましては、夏休み中、連日100人以上の観光客にお越しいただき、また、8月14日には成人式終了後、三江線の廃線を惜しんで、出席した新成人19人全員が川本駅に出向いて、川本町民の誇りを持ち200人近い当日の乗客に手を振って見送りをしていました。

こうした光景に、若い皆様の郷土愛というものを感じるとともに、改めて彼らが喜んで帰って来られるようなまちづくりをしていかなければならないと強く思った次第であります。

9月1日には鉄道事業法に基づき、代替交通確保調整協議会で代替バスの運行計画を承認し、今後は地域公共交通活性化再生法に基づき、住民代表らで構成する法定協議会で運賃やダイヤなどを検討してまいります。運行計画では、川本・済生会江津病院間は石見交通株式会社を運行事業者

として停留所を51箇所、55人乗車両で1日6往復としています。川本・浜原間は大和観光株式会社を運行事業者として停留所を31箇所、29人乗車両で1日6往復としています。

調整協議会では、一般にバス運賃は鉄道の3倍から4倍になるといわれていますが、三江線の代替交通であるという観点からも、三江線との運賃に大幅な相違がないようJRの支援を念頭に運賃については、弾力的な設定となるよう中国運輸局はじめ関係者に配慮をお願いしたところがございます。

また、このたびの走行ルートで普通車でも離合できない箇所については、安全走行が確保できるよう道路改良も含めた何らかの対応をJR並びに、県をお願いしたところがございます。併せて町内の枝線のネットワークについても検討を進めてまいります。

なお、これまで各地の地域公共交通はバスの民間事業者によって支えられてきましたが、マイカーの普及や人口密度の低下等により不採算路線からの撤退が続いています。代替交通も、持続可能な公共交通としていかなければなりません。バス転換になりましても年間2億5000万円程度の赤字となる試算でございます。JRがランニングコ

ストをどう支援してくれるのかが大きなポイントであり J R に対し県を通じて交渉を行っているところでもあります。

鉄道資産の活用につきましては、当初 J R の基本姿勢は一括無償譲渡で一部譲渡は有償としていましたが、先般、一部譲渡について、その都度個別に協議をする回答が県にあったところでもあります。かねてから地域振興で使用する鉄道資産は無償譲渡するよう求めており、引き続き交渉を進めてまいります。川本町は他の沿線市町とは違って町中を通っており、これらを有効活用した町づくりを町民主体で進めなければならないと考えております。

明るいニュースもございました。川本中学校吹奏楽部が県大会で金賞を受賞し、2年連続で中国大会に出場、金賞を受賞し音楽の町を印象づけたところでもあります。

次に、平成28年度の決算についてご報告申し上げます。

はじめに、平成28年度の普通会計支出額は、39億2,105万3千円で、27年度決算額49億4,699万3千円に比べ、20.7%減少しております。

要因としましては、27年度に実施した庁舎移転やデジタル防災行政無線整備等の大規模な事業が終了したことがあげられます。

実質収支額は、4, 879万2千円の黒字で、27年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額は、139万3千円のプラスとなり、財政調整基金積立金を加えた実質単年度収支は、2, 739万3千円となりました。

基金につきましては、財政調整基金2, 600万円、減債基金1億278万5千円の積み立て等により、28年度末の基金残高は18億8, 727万9千円となり、27年度末より1億4, 718万3千円増加しました。

地方債につきましては、定住促進住宅整備事業や町道中倉日向線道路改良事業等3億9, 401万7千円の借り入れを行い、平成28年度末地方債現在高は対前年度289万5千円減の42億9, 337万1千円となりました。

財政構造の弾力化を示す経常収支比率は、公債費の減少等により分子となる経常一般財源支出が3, 396万9千円減少したものの、分母となる経常一般財源収入が7, 014万5千円減少したことから前年度より1.3%プラスの89.5%となりました。

今後は地方債の償還等により公債費が上昇する見込みであり、経常的な一般財源支出の抑制を行うなど、更なる健全化に努めていく必要があります。

次に、財政健全化を判断する4つの指標について申し上げます。

まず、一般会計の赤字比率を示す「実質赤字比率」と、一般会計に簡易水道や集落排水等の特別会計を含めた赤字比率を示す「連結実質赤字比率」は、いずれも黒字決算であるため数値は生じておりません。

一般会計の元利償還金のほか、一般会計から公営企業会計への元利償還金に対する繰出金や、事務組合への公債費の負担金なども含めた、公債費の財政規模に占める割合を示す「実質公債費比率」は、前年度より1.5%減の7.9%となり、警戒ラインの18%を下回っております。

地方債の現在高など、町が将来負担すべき実質的な負債の財政規模に占める割合を示す「将来負担比率」は、平成27年度18.4%でしたが、28年度は職員数の減に伴う退職手当負担額やごみ焼却施設整備に伴う償還負担額の減、充当可能基金の増等の影響により、前年度より9.4%減の9.0%となり、こちらも警戒ラインの350%を大きく下回っております。

これらの4指標は、いずれも良好な数値ではありますが、引き続き財政健全化に取り組んでまいります。

次に、平成28年度町税等の収納状況について申し上げます。

個人町民税の収納率は98.8%で、対前年度0.7%減。滞納繰越分を合わせた収納率は97.1%で、対前年度0.6%減。29年度への累計繰越額は315万6千円となっております。

固定資産税の収納率は97.4%で、対前年度0.4%増。滞納繰越分を合わせた収納率は90.4%で、対前年度1.5%増。29年度への累計繰越額は1,670万2千円となっております。

軽自動車税の収納率は99.2%で、対前年度0.1%増。滞納繰越分を合わせた収納率は97.6%で、対前年度0.9%増。29年度への累計繰越額は28万6千円となっております。

国民健康保険税の収納率は95.6%で、対前年度1.6%減。滞納繰越分を合わせた収納率は85.0%で、対前年度1.3%減。29年度への累計繰越額は1,122万7千円となっております。

後期高齢者医療保険料の収納率は99.2%で、対前年度0.7%減。滞納繰越分を合わせた収納率は99.2%で、対前年度0.7%減。29年度への累計繰越額は26万5千円となっております。

本年度も税負担の公平性の観点から島根県と連携して相互併任制度を活用し、徴収技能の充実を図り、収納率の向上に努めてまいります。

次に、平成29年度普通交付税の算定結果について申し上げます。

普通交付税につきましては、16億9,671万8千円で、対前年度0.6%減、1,100万円の減額となりました。また、臨時財政対策債の発行可能額は、8,590万円で、対前年度2.2%増、188万3千円の増額となりました。

普通交付税と臨時財政対策債を合わせると17億8,261万8千円で、対前年度0.5%減、911万7千円の減額となっております。なお、県内平均は2.8%の減であります。

これまで特別交付税で算定されていた生活保護費・社会福祉費が平成29年度から普通交付税に算定されることとなり、5,815万2千円増額になっているものの、27年度国勢調査における75歳以上高齢者の減少で高齢者福祉費が大幅に減額となったこと等が、総額が減額となった要因であります。

なお、当初予算と比較した場合、普通交付税は2,312

万3千円の増、臨時財政対策債発行可能額は560万円の減となりました。増額分につきましては、財政調整基金の取り崩し額への充当を予定しております。

それでは、町行政の主な動きにつきまして順次ご報告申し上げます。

まず、

「特色を活かした活力あふれる産業のまち」に関する動きについてであります。

(米の生産振興)

はじめに、米の生産振興について申し上げます。

平成29年産米の作柄は、8月15日現在、島根県石見部、出雲部とも「やや良」となっております。

30年産米からは、島根県農業再生協議会が生産数量の目安を示すことになっておりますが、本町の暫定生産数量は、29年産米と同じ729トン、150ヘクタールが示されております。

### (新規担い手の確保)

次に、新規担い手の確保について申し上げます。

現在、農業研修生として、地域おこし協力隊と島根定住財団の研修生2人が、民間企業でエゴマの播種や定植などに取り組んでおります。

6月から8月には、大阪、東京で開催された「しまねU・Iターン相談会」や県内で農業体験を行う「しまね就農相談バスツアー」にも参加するとともに、かわもと暮らし情報センター等と連携し、町内での農業体験ツアーも実施して担い手確保に取り組んでまいります。

### (畜産振興)

次に、畜産振興について申し上げます。

全国和牛能力共進会に向け、県代表牛となる最終選抜会が、6月29日に島根県中央家畜市場で開催されました。本町からは、有力候補として繁殖育成牛が1頭、出品されましたが、残念ながら入賞には至りませんでした。

J Aが大田市に建設した県央地区畜産総合センターにつきましては、繁殖雌牛を預託するマザーステーションでは8月現在、18頭が預託されております。

なお、子牛を預託するキャトルステーションの建設は、当初の計画より遅れ、10月以降に着工される予定であります。

### (商業振興)

次に、商業振興について申し上げます。

民間企業が町の地域商業支援事業を活用して、保冷車を購入し、町内の高齢者や独居世帯等、50世帯を対象として、弁当や総菜などの宅配サービスを開始されました。

また、弓市商店街の空き店舗を活用し、個人事業主により、女性専用のエステティック業も10月に開業予定であります。

6月に制定した中小企業・小規模企業振興基本条例につきましては、事業所等の持続的な発展に向け、円滑に事業承継を推進していくことが重点の一つとなっております。商工会においては、今月、町内の企業や事業者を対象に、承継に関する実態や今後の意向など、アンケート調査が実施されます。

### (観光振興)

次に、観光振興について申し上げます。

三江線を利用した観光客の状況につきまして、「青春18きっぷ」利用期間中、お昼便の平均乗客は、7月が80人、8月には100人を超え、連日、商店や地域婦人会、町民有志、高校生、観光協会等が中心となっておもてなしを行っております。

また、昭和50年に三江線が全線開通した日の8月31日には、三江線おもてなしサロンで、開通を祝う当時の貴重な写真展示をはじめ、石見川本駅ホームでは、JRの協力を得て、駅員の制服姿や手作りの手旗を持った川本保育所3歳から5歳児44人による、乗客へのお見送りも行いました。また、因原駅でも、因原保育所4歳、5歳児9人がお見送りを行いました。

廃線後の誘客や商店街への影響が課題となる中、現在、乗客の方々を中心に、アンケートや要望調査を実施しているところでもあります。

イベント関係では、7月1日にJR大阪駅で開催された「山陰ディスティネーション・キャンペーン」プレイベントに、島根県代表として、川本、因原、三原、三谷の4神楽団で構成する「オール川本神楽団」が出演しました。8頭の迫力ある「八岐大蛇」の舞いは、県西部や川本町の知名度向上、PRにつながりました。

7月29日に開催した「2017ええなあまつりかわもと」は多くの来場者でにぎわい、名物の日本一お腹に響く花火や灯籠流しを楽しみました。運営にご協力いただいた関係機関の皆様にも改めて感謝申し上げます。

これから秋に向けて、「産業祭」をはじめ、松江市での「輝けイレブンしまね町村フェスティバル」、坂町での

「坂町・川本町特産品フェア」、また、来年1月には広島市で「島根ふるさとフェア」も予定されております。

本町の観光資源や特産を十分にPRしながら、誘客を図ってまいります。

### (6次産業化)

次に、6次産業化について申し上げます。

鴨処理加工施設につきましては、稼働以降、毎月50羽程度の処理を行っており、今月からはより一層、計画的な増産に向け、取り組んでいるところであります。

また、「えごま鴨」の商品開発では、ロース肉等に加え、ムネ、モモ、レバー等の燻製が商品化されております。

事業者においては、贈答用のチラシ作成や告知放送を活用し、PRを図っていますが、秋以降は、県内外で開催される物産フェア等にも参加し、販路開拓につなげていく予定であります。

新たな取り組みにつきましては、三原でエゴマの生産、加工を行っているIターン者の<sup>しばはらのぶゆき</sup>柴原信行さんが、搾油施設を整備し、7月から自家ブランド「アグリムーン」の川本町産エゴマ油が店頭販売されております。

三原産米を使ったどぶろくは、秋からの製造に向け「三原の郷<sup>さと</sup>どぶろく作ろう会」により、製造場の準備等が進め

られています。

また、株式会社ドリームかもんは、エゴマの葉を使用した「エゴマビール」の商品化に取り組んでいます。

つづいて、

**「便利で快適に暮らせる基盤が整うまち」**に関する動きについてであります。

#### (定住促進住宅整備)

はじめに、定住促進住宅整備について申し上げます。

今年度建設を計画しております3戸の定住促進住宅につきましては、9月7日建築工事の入札を行いました。本定例会におきまして請負契約締結に係る議案を追加上程させていただきたいと考えております。

来年4月には新しい住民の方をお迎えできるよう、入居者の募集も行ってまいります。

#### (民間住宅整備)

次に、民間住宅整備について申し上げます。

新たな住まいづくりを支援するために推進しております住まいづくり応援事業の推進により住宅の建設が進んでお

ります。今年度は民間住宅整備助成事業により三原地区での集合住宅の建築が決定していますので、本定例会におきまして補正予算を上程しております。これらの事業により、移住・定住が一層進むことを期待しております。

#### (道路整備)

次に、道路整備について申し上げます。

一般県道川本大家線の三俣地内につきましては、長期にわたる全面通行止めで、地域の方に大変ご迷惑をおかけしておりますが、迂回路用の仮橋の発注は、7月に行われており、今年中に規制解除が行われる予定であります。

町道事業につきましては、中倉日向線道路改良を継続して実施し、企業誘致に関連した三原古市線道路改良につきましては、平成31年度末完成予定で、7月末に発注したところでございます。

また、年間を通した道路維持管理業務を行い、町民の皆様の安全な道路交通網の確保に努めてまいります。

#### (簡易水道)

次に、簡易水道について申し上げます。

国の簡易水道再編推進事業と生活基盤近代化事業を活用して、老朽化している配水管の更新及び浄水施設の整備を

実施しております。

繰越事業の川本浄水場の施設整備および紫外線殺菌装置の整備工事につきましては、7月末に完成し、既に紫外線処理された水の供給を開始しております。

今年度の事業につきましては、因原浄水場の施設整備および紫外線殺菌装置の整備工事、また、配水池新設に伴います送水管および配水管の整備工事の一部を、7月末に発注したところでございます。9月末には、因原地内送水管および配水管の布設替え工事を発注する予定であります。

#### (水防災・治水対策)

次に、水防災・治水対策について申し上げます。

国交省が策定した、本町の水防・治水対策の基本となる「江の川水系河川整備計画」に基づき、久料谷地区の水防災事業について、7月に地元期成同盟会と国交省との具体的な協議を開始したところでございます。

谷戸・谷・日向地区の治水対策につきましても、早期着工されるよう国交省には引き続き強く要望してまいります。

つづいて、

「安心して暮らしやすい生活環境のまち」に関する動きについてであります。

#### (新可燃ごみ処理施設)

はじめに、新可燃ごみ処理施設について申し上げます。

施設整備に伴います施設の基本計画、敷地造成設計および生活環境調査業務など、本年度計画の調査設計業務についてすべて発注されております。

地元自治会と邑智郡総合事務組合による運営協議会で協議を重ねながら、平成33年度末の竣工を目途に事業は進められます。

#### (地すべり対策)

次に、地すべり対策について申し上げます。

現在、三原地区を川本第2期地区として対策工事が行われており、7月末に南佐木地内の排土工事及び水抜きボーリング工事が発注されています。

#### (交通安全対策)

次に、交通安全対策について申し上げます。

2年毎に開催される「邑智郡交通安全郡民大会」が9月

20日に美郷町で開催されます。

また、11月2日には「交通安全高齢者の主張島根県大会」が松江市で開催され、石東ブロック代表として本町のなかがきけいこ中垣恵子さんが意見発表を行われます。

今後も、町民の皆様の交通安全意識の高揚を図り、交通死亡事故ゼロを目指す取り組みを川本警察署や町交通安全協会など関係機関と協力して実施してまいります。

つづいて、

「みんなが健康で安心にいきいきと暮らせるまち」に関する動きについてであります。

#### (高齢者福祉)

はじめに、高齢者福祉について申し上げます。

本町の高齢化率は、8月末現在で44.5%となり、前年同期と比較して、0.6%増となっております。

後期高齢者となる75歳以上の方は、883人で、総人口に占める割合は、25.9%となります。最高齢者は104歳の方であります。

長寿を祝って、90歳の方22人、95歳の方18人、100歳以上の方11人へ記念品を贈呈するとともに、

今年100歳を迎えられる6人の方へ、内閣総理大臣からの記念品を伝達させていただきます。

また、各公民館単位に生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域の皆様の協力をいただいでサロンを開設するなど、高齢者の皆様が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けていけるよう、支援していくこととしております。

#### (高齢者の活動)

次に、高齢者の活動について申し上げます。

高齢者の方々も、スポーツや文化活動など様々な活動を元気に続けておられます。老人クラブ連合会では、グラウンドゴルフ、ペタンクなどの大会や運動会を開催されるとともに、坂町との交流事業などや文化展の開催なども行っておられます。

それ以外にも、各種スポーツ活動や公民館を中心にした文化活動などに盛んに取り組まれており、健康長寿に寄与するものと期待しております。

#### (健康づくり等に関する協定)

次に、健康づくり等に関する協定について申し上げます。

本町をはじめとする県内の全町村は、全国健康保険協会島根支部と「健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する

る協定」を締結いたしました。

今後は、本協定を生かし各種検診の受診促進を図るとともに、生活習慣病などの重症化防止や医療費の適正化対策などに取り組んでいきたいと考えております。

また、エーザイ株式会社と「認知症とともに生きる地域づくりに関する連携協定」を締結いたしました。

今後は、この協定に基づき、認知症に関する理解啓発活動など、認知症の方も安心して暮らし続けることができる地域づくりに取り組んでいくこととしております。

#### (国民健康保険)

次に、国民健康保険について申し上げます。

安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等を目的に、平成30年4月に都道府県化されることに伴い、保険税率に密接に関係する納付金につきまして、試算作業が進められています。

年明けまでには、納付金の額も確定してくる予定であり、それに合わせて本町の保険税率を決定するとともに予算編成作業や関係条例、規則等の整備も進めてまいります。

つづいて、

「夢や希望をはぐくむ教育・文化のまち」に関する動きについてであります。

#### (学校教育)

はじめに、学校教育について申し上げます。

平成27年8月から2年間、小学校ALTとして勤務されたナオミ・アマノ・マリーさんが7月に契約が満了し、退任されました。

後任には、アメリカ出身のジョバンニ・フローレス・アンドレスさんが来日し、中学校専属ALTとして勤務しております。また、小学校専属ALTは同じくアメリカ出身のアラーナ・ヤオ・シェンランさんが、9月26日に来日し、27日に着任することとなっております。

部活動につきまして、吹奏楽部の活躍の他、陸上部の野口<sup>のぐちるか</sup>月華さんが8月8日、岡山市での第51回中国中学校陸上競技選手権大会の走り幅跳びに出場し、8位入賞を果たしました。また、名原<sup>なばら</sup>かのんさんは8月26日、益田市でのジュニアオリンピック特殊種目記録挑戦会兼記録会の1年女子走り幅跳びにおいて優勝し、10月27日から横浜市で開催される第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会への出場が決まりました。健闘を期待しております。

### (教育環境の魅力化)

次に、教育環境の魅力化について申し上げます。

本年度は、学習塾等の費用助成に加え、新たに英語検定の受検費用助成を実施したところ、川本中学校では学校ぐるみで英検に取り組み、6月に行われた第1回検定では受検者30人全員が合格致しました。

島根県においては、中山間地の県立高校から始まった教育魅力化を小中学校にも広げており、本町としても学校教育のみならず、社会教育、地域との連携など、川本町らしい魅力ある教育環境についての検討を重ねてまいります。

また、川本町らしい教育の在り方を検討する中で、小中一貫教育についても、先進事例を参考にしながら調査研究を継続してまいります。

### (社会教育活動)

次に、社会教育活動について申し上げます。

ふるさと教育では、7月26日から3日間、三原、市井原、湯谷の各地区で宿泊型自然体験活動「かわもとサマーキャンプ」を実施しました。小学4年生から6年生が川本町の「ひと・もの・こと」に触れ、地域の良さに気づくことを目的としており、参加者14人、支援者24人、うち島根中央高校生6人の協力を得ました。

また、8月6日から2日間、三原地域の小中学生8人が参加し「三原っ子ふれあい合宿」を北公民館で実施し、より一層地域に親しむ学習を行いました。

次に、町内の小中学生がビジネスやものづくり体験を通し、起業や経営への関心を高める「ベンチャーキッズスクール」を県の事業を活用し、今月から開講します。

このスクールの中では、三江線利用者から要望の高い「駅弁」について、飲食店の協力のもとマーケティングや商品開発、製造、販売戦略を学び、11月には駅で販売を行います。

#### (社会体育の推進)

次に、社会体育の推進について申し上げます。

6月25日には、第42回川本町親睦バレーボール大会を開催し、男子の部6チーム、女子の部5チームが参加、8月21日からは第59回川本町親睦野球大会を開催し、7チームが参加、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

また、7月2日には、春夏秋冬（しき）を楽しむかわもとウォーキング“夏”を笹畑地区で開催し、32人の参加がありました。

7月8日からオープンした川本町民プールでは、夏季のレクリエーションや運動の場として多くの児童・生徒、

帰省された皆様にご利用いただきました。

最終日の8月27日までの間に昨年に比べて若干増の1,110人にご利用いただきました。

### (文化振興)

次に、文化振興について申し上げます。

10月21日、悠邑ふるさと会館大ホールにおいて、NHK教育テレビの全国放送番組「俳句王国がゆく」の公開録画が行われます。地元小学生や俳句愛好家の出演も予定しておりますのでご期待ください。

また、6月18日には、音楽の町再生プランナーとして4月から活動を始めた、地域おこし協力隊の伊藤浩平さんいとうこうへいと川本町の共催による初企画「アフターヌーンコンサート」を開催しました。

ピアノとクラリネットのコンサートでしたが、コンサートの合間に、クラシックコンサートの聴き方などマナー講座を行うことで、よりコンサートを楽しむことを伝えました。

7月13日には、第二弾となる「ジャズライブ」を開催し、ライブハウスに見立てたマルチホールを会場に、大ホールとは違った雰囲気を来場された皆様に楽しんでいただきました。第三弾は11月に公民館を会場に予定しており、多くの皆様にお楽しみいただきたいと期待しております。

大ホールの音響設備改修工事につきましては、8月16日から本格的な工事が始まっており、完了する9月22日まで使用できない状況になっております。

9月24日に開催される「川本町神楽共演大会」から新しい音響設備の活用が始まります。最新の音響設備の導入となりますので、これまで以上にホールを有効活用してまいります。

つづいて、

**「人と人が支え合う協働のまち」**に関する動きについてであります。

(島根中央高校魅力化)

はじめに、島根中央高校魅力化について申し上げます。

平成29年度の入学生79人を迎え、全校生徒数は240人で、在校生の出身中学校数は103校となり、これまでの魅力化事業などの一定の成果であると感じております。

今年も県と連携して関西・東京圏、名古屋や福岡での募集活動に取り組んでおり、7月に行われたオープンスクールには県内外の中学校から128人の参加がありました。引き続き高校魅力化を支援してまいります。

### (男女共同参画の推進)

次に、男女共同参画の推進について申し上げます。

昨年度策定した第2次川本町男女共同参画推進計画に基づき、すべての人が互いに尊重し、認めあい、あらゆる分野に積極的に参画し、能力を発揮できる社会の実現を目指して、様々な取り組みを行っています。

8月には、高齢化社会における男女共同参画の推進を図るため、映画「人生フルーツ」を上映いたしました。

また、11月には高校生を対象とした講演会を計画しており、世代ごとの取り組みを通して、男女共同参画の一層の推進を図ってまいります。

### (姉妹都市交流)

次に、姉妹都市交流について申し上げます。

坂町との子供交流では、8月3日から2日間、坂町で「子どもスポーツ交流会」を実施しました。野球観戦やカヌー体験等の活動を、川本町12人、坂町105人の参加者で行いました。

次回は1月末にスキー交流会を三瓶等で予定しており、これからも交流の輪がより深まることを期待しております。

また、8月20日には「坂町平和音楽祭」に、本町から25人が参加しました。ゲストの二階堂和美さんの歌声に

深い感銘を受けたところであります。今後もより一層、文化交流を深めてまいります。

(企業誘致)

次に、企業誘致について申し上げます。

株式会社三協につきましては、「島根川本工場」の建設に向け、7月12日に工場立地用地で起工式が行われ、工事が進められております。

工場用地整備の第2期工事は、10月末を工期とし、旧ライスセンター周辺や、洪水調整池の整備等を進めております。

また、人材確保では、現在19人が幹部候補生として富士市の工場において就労中であります。また、来春の就職に向け、7月には島根中央高校の生徒も工場見学を行っています。

新たな企業進出や、多様な働き方への取り組みにつきましては、7月に総務省「ふるさとテレワーク推進事業」の採択を受け、遊休施設となっていた音楽研修棟を、情報通信技術を活用したテレワーク拠点として整備してまいります。

拠点には、ウェブ制作などを手掛ける松江市の有限会社ウィール山陰が進出し、来年3月には業務が開始されます。

なお、拠点整備に係る必要経費を、本定例会におきまして補正予算を上程しておりますので、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

(ふるさと納税)

次に、ふるさと納税について申し上げます。

返礼品の自治体間の競争が過熱し、制度の趣旨に反するような品が送付されている背景を受け、国は自治体へ、3割を超える返礼割合のものを見直すことや、自治体の住民に対し返礼品を送付しないことを、秋頃までに是正するよう求めております。

本町では、10月から見直しを行い、今後も川本町を「ふるさと」と実感していただく思いを大切にしながら、制度を効果的に活用してまいります。

(窓口おもてなし)

次に、窓口おもてなしについて申し上げます。

8月31日現在で、婚姻3件、出生7件、転入63人59件の届出があり、窓口にて記念の品をお渡ししました。

今後も、「おもてなし」の心を持ち窓口対応に努めてまいります。

また、8月1日から三江線のイラストを使った新用紙によります各種証明書を発行しておりますが、住民票の広域交付により三江線の乗客の方など町外から来庁いただき、17件の交付を行いました。

(公聴・広報)

次に、公聴・広報について申し上げます。

6月に町内3箇所で行った「まちづくり意見交換会」では、町民の皆様から貴重な意見をいただいたとき、主な内容については広報でも紹介し、情報共有を図ったところでございます。また、8月には川本町地域婦人会との意見交換会も行い、三江線代替交通に係る要望などがありました。

今後も、あらゆる機会を活用し、町民の皆様のご意見を町政運営に生かしていきたいと考えております。

(提出議案等)

今定例会に提案しました案件は、条例案件3件、予算案件4件、決算案件6件、人事案件3件であります。

後ほど、担当課長から、これらの説明をさせますので、慎重なご審議をいただき、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。